

湯梨浜町過疎地域自立促進計画第2回委員会議事録

日 時 平成28年2月5日(金) 午後4時～5時25分
場 所 湯梨浜町役場第1・2会議室

1. 開 会 (進行：幹事)

これより、湯梨浜町過疎地域自立促進計画第2回策定委員会を開催いたします。幹事長であります副町長よりごあいさつをお願いします。

2. 幹事長あいさつ

会長をはじめ、委員の皆さまには大変お世話になっております。第3回目の幹事会を2月2日に行いまして、この2次案につきましては、修正なり皆さんのご意見を反映したものをということで、精一杯それぞれ担当課・担当職員が訂正なりを行ったものが、今回皆さんのお手元に提出されているものと思っております。ご審議をいただき、できれば次回の議会に報告しながら、3月の議会定例会に上程したいと思っております。よろしくお願いします。

3. 会長あいさつ

昨年9月以来の第2会委員会ということで、当初は12月議会に(上程)という予定でしたが、3月に(変更)ということになったようです。事務局や幹事さんにとっては、地方創生であるとか、総合計画、本当に多忙な1年でなかったかと思います。本日は2回目の委員会ですが、時間的にも押し迫ってきております。議論を深めていきたいと思いますので、皆さんよろしくお願いします。

(幹事)

では、設置要綱に基づき、以降の議題につきましては会長の方で進行をお願いいたします。

4. 協議事項 (進行：会長)

では、協議事項に入ります。事務局より修正箇所の概略についてお願いします。

(事務局)

では、事務局より第1回委員会後の主な修正箇所についてご説明します。「別紙1」をご覧ください。本文の記述につきまして、修正箇所は赤字で表記しているところですが、まず17ページについては「小さな拠点づくり」について記述を追加しています。・・・

(※以降「別紙1」に基づき、事務局より修正箇所の確認)

このほか、細かな修正もありますが、大きなものとしては以上でございます。また、申し訳ございませんが、一部差し替えについて配布しておりますので、確認をお願いします。

(幹事)

そういたしますと、今お示しした修正箇所について、理由等も含めて各幹事に説明をお願い

いしたいと思います。

まず、17、58ページの「小さな拠点づくり」について追加させていただきました。これにつきましては、総合戦略でも掲げておりますが、泊地域の問題点という形で、公民館や青少年の家、役場機能を集約・整備していく必要があるのではないかとということから、国の方でよくいわれている「小さな拠点」を実施していこうではないかということで、「集落の整備」の中に記述を追加したものであります。58ページには、その対策として「老朽化が進んでいる中央公民館泊分館や青少年の家といった社会教育施設を中心に、小さな拠点づくりも視野に入れながら、一体的な生活圏の構築を目指して、公共施設の機能集約及び整備を検討します。」という項目を追加させていただいたということでございます。

続きまして、風力発電の今後の方向性につきましては、60ページ赤字のとおりとしております。現状と問題点として、落雷や経年劣化による故障、修繕費用の高額化などが生じており、平成35年2月末の電力需給契約期間満了及び大規模修繕が必要になった際の継続について検討が必要であることを挙げております。その対策には、風力発電設備の保守を行いながら運転状況を注視し、大規模修繕が必要になった際には、投資対効果を検証して継続についての検討を行うことを記載しています。

(幹事)

農業の主要指数、主要作物の生産指標につきましては、前回は平成22年度の数値が抜けておりましたが、このたび追加させていただきました。

(幹事)

38ページですが、泊浄化センターの長寿命化について追加させていただきました。1次案につきましては、事業計画は農業集落排水の関係1項目のみでしたが、施設の長寿命化についてこのたび追加いたしました。

(幹事)

42ページになりますが、当初は消防施設のための記載でございましたが、自主防災組織の組織強化に力を入れていきたいということで、これについての記述を追加しております。

(幹事)

47ページです。これまで「施設の統合、老朽化に伴う施設整備」という表現でしたが、方向性が定まっていない中、現時点の表現としては「延命、機能強化のための施設整備」の方が適切であるということで修正しました。それとともに、前回、こども園統合について慎重に方向性を定めていただきたいという要望を受けまして、あり方検討委員会を設置しながら進めていきたいと思い、記述を追加いたしました。若干ですが、46ページにつきましても慎重に協議を進める旨の記述を追加しております。

(幹事)

28年度から小さな拠点を絡めて、公共施設の検討を行いたいということですが、その機能の中に図書室を加え、より広い観点から検討ができるようにということで追加をさせていただきました。

(幹事)

55ページになりますが、泊小学校のエアコン整備事業につきまして、そのほかの2小学校と合わせながら、年次的にエアコンを導入していくという整備事業を追加しております。

(幹事)

泊体育館については現在、照明灯の約3分の1が球切れになっており、これをLED化するため、28年度に予算要求をさせていただいております。

(幹事)

創生関連事業ということで、59ページです。創生事業の中で現に実施しているものもありますが、これらについても関連させながら過疎計画にも追加させていただいたところです。

(事務局)

それでは、概算事業計画についてご説明いたします。

(※以降「別紙1」に基づき、事務局より修正箇所の確認)

引き続き、「別紙2」についてご説明いたします。こちらにつきましては、前回の委員会において委員の皆さんから意見・要望のあったものを載せております。各項目につきましては、関係課よりご説明いたします。

(幹事)

30ページ赤字表記のとおりですが、2021年ワールドマスターズゲームズにおける会場招致の取り組みを追加しております。それから、競技人口拡大についてのご指摘があったわけですが、これについては54ページの赤字表記のとおり追加させていただいております。

(幹事)

こども園統合について慎重に進めるようにという要望をいただきました。先ほども説明いたしましたが、28年度に予算計上しているとおり検討委員会を設置し、地域の方々、保護者の方々と十分に協議を行った上で方向性を定めていきたいと考えています。

(幹事)

文化財関係ですが、58ページの事業計画の赤字部分です。これまでは史跡の名称等を載せていましたが、具体的に整備する箇所について記載を変更しています。

(幹事)

風力発電の方向性についてですが、先ほど読み上げました記述の内容に替えさせていただきますと思います。

概算事業費に一部誤り・未記入があった箇所につきましては、先ほど担当が説明したとおり、また配布している資料のとおり修正させていただいております。

(幹事)

泊体育館・青少年の家の耐震診断についてですが、診断費用について聞いてみたところ、概算で二百数十万から400万円程度かかるということで、施設の耐用年数も経過している施設でございますので、このたびの事業計画には記載を見送っております。

(幹事長)

耐震診断しないとなれば、実は屋根は過疎債で実施しておりますので、そのままというわ

けにはいかないかなと。そのあたりについては、また担当課と話をさせていただきます。

(会長)

以上、前回の会議からの修正箇所、さらに意見・要望等に対する回答がありましたが、これらを受けて何かありましたら委員さんお願いします。

では私の方から、「小さな拠点」については事業計画には載っていますか。

(幹事長)

文言しか載っていないのですが、これから協議していくにあたっての組織体制がきちんとできていないということから、ここに記載の分野、補助事業も利用しながら全体をまとめていきたい。おそらく、記載の事業のほとんどが小さな拠点の対象物件になるというふうに思っております。

(幹事)

小さな拠点づくりについては、実質は、54ページの「教育の振興」に「複合的社会教育施設整備事業」というかたちで挙げていますので、「集落の整備」の方に事業計画を持っていこうかと思っております。

(会長)

小さな拠点にしても、CCRCにしても、まだ協議はこれからでしょうが、泊にも関係するものがあると思います。住民からも積極的に声を出してやっていかないといけない事業ですから。やっぱり住民が盛り上がらないと何も進まないと思うので、そのあたりよろしくお願いします。

このほか、意見等ないようでしたら、2次案について、全体的に再度ご覧いただき、意見・要望等いただきたいと思います。

人口減少の状況についてですが、県の概数を見ると、平成7年から27年度まで泊が約21%減少、羽合が14.53%プラス、東郷14%減少という状況です。1番多いのは若桜、青谷は21%。さらに、泊の集落の中、高齢化率は約44%、6区は34%、浜山は9.9%など、泊の中でも差があります。町全体的には約30%ということで、均衡ある発展をこの過疎計画で目指さないといけない。そのあたりも含めて議論していただきたいと思います。意見等ありませんか。

(幹事長)

過疎計画の基本的な考え方となるのは、そこに住んでいる町民以外にもどのように呼び込むかということも大事なことですし、旧泊村時代については、住宅建設なり造成によって、あるいは特殊出生率の関係も増えていったと。それが今なくなっていて、そういう施策が必要ということも一つあるわけですが。本日は地域おこし協力隊員も出席しておりますので、自己紹介をしていただき、泊のためにどのようなかたちで活性化なり呼び込みをしていくかなど、(話す)時間をいただければ。

(協力隊員)

1月4日に着任した協力隊の佐藤です。私は現在、泊の町営住宅に住んでいるのですが、普段歩いていても若い方と会う機会も少ないですし、地域内の商店もスーパーなどと比べ品

ぞろえが劣っているかなという。だんだんと泊地域がどんなところであるかということを感じてきておりました。いろいろな方と話をする中で、若い自分の視点と、5、60年住んでいらっしゃる方の視点と、やはり個々によって視点が違うのだなと思う瞬間が何度かありました。今後は泊地域の活性化や空き家関係の仕事をさせていただきます。何かありましたらよろしくお願いします。

(幹事長)

普段は泊支所におりますので、空き家調査等、協力隊員にどんどん情報をあげていけば本人も動きやすいのかなと思いますのでよろしくお願いします。

(会長)

隊員には大きな期待をしておりますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

昨年度の住民との意見交換会では、商店がなく買い物できない、働く場所がない、防災面で不安があるなどの意見があがっています。まちづくりアンケートにおいても「何もかも不便で生きていくのがしんどい」というような意見もあります。この5年間の計画で目に見えた動きをしていかなくはいけないと思います。

(委員)

今は車の運転ができますが、だいぶ買い物難民も増えていくし、場所も店という店は石油店ぐらい。一般業者にしてみれば採算が合わなければやってくれないし。最終的には行政がどうやっていくかというところに行き着くのではないかと。難しいということは分かっているが、手を差し伸ばしてやってもらわないといけないと思います。

(幹事長)

現在、社会福祉協議会の方で買い物支援として各地域で（移動販売を）運行されているわけですが、需要もまだまだ少ないのかなと思われます。とはいえ、日用品を買う場所が近くにあれば便利という声も十分に理解しております。ただ、品をそろえていく上で、業者自体が運営できなくなり、ではそれに対し支援策として補填していくのかということは難しいところがあります。泊地域にも生協等ありましたが、それ自体が運営できなくなってきたという経過もあり、このあたりを一緒に考えて、どうあるべきかを泊地域全体の中で検討していくようなシステムづくりをこれからつくっていく必要があるかと思います。

(会長)

鳥取県でも買い物不便相談窓口などがあり、町の方でもそれらをどうPRしていくかということを考えておられるのだと思いますが、そうではなく、（これら買い物等の問題は）小さな拠点づくりの大きなウェイトを占めていると思います。なるべく早い時期に、小さな拠点づくりの協議会を立ち上げて議論しないといけないと。何か意見要望に対する答弁については消極的でおもしろくないと思います。

(幹事)

（小さな拠点については）庁舎内でも取りかかろうとしていますが、早ければ28年度から実施していければと考えています。

(会長)

泊では区長会を立ち上げて議論を進めようと思っているところです。

(幹事長)

子育て支援課でも、こども園のあり方検討委員会というものを挙げていますが、それらも小さな拠点の一部になってくると思います。おっしゃったように組織を再構築し、みんなで考えていかないと、行政のみ、(計画の)紙面のみではなかなか前には進んでいかないと思います。

(会長)

やはり住民が主体であると思います。保育関係、介護保険の関係もそうです。住民協議により、あくまで村づくり・地域づくりという観点で進めていかないといけないと思います。

(幹事)

介護予防事業については、進捗は遅れていますが、4月より随時行えるように進めています。新規事業としては、現在の介護予防事業の組み替えもありますし、新たに、現在養成しているゆりりんメイトに活躍していただけるような、短期集中型の地域で取り組める通所型の介護予防教室を3カ月程度・週1回できないかということを協議しています。

(委員)

社協の方は今通所だけでも、これを宿泊できるような施設にする考えは全くないのでしょうか。

(幹事長)

小規模多機能のしじみの郷があります。

(会長)

28年度あるいは29年度あたりからは、生活支援センターの5、6部屋を使えるようにという計画があるようです。

(幹事)

まだ具体的には聞いていませんが、介護サービスでなくお泊りデイにするのか、あるいは今のしじみの郷の小規模多機能に移行され、そこを宿泊が可能なサービスにされるのかというところで、具体的なお話は聞いていません。

(委員)

泊小学校のエアコン整備に関する事業計画ですが、28年度と32年度に予算が計上されていますが、一度に実施しないのには理由があるのでしょうか。

(幹事)

26年度から各小学校のエアコン整備を実施しているのですが、これらは年次計画に基づき実施しているものです。28年度は泊小5・6年生で、32年度には3・4年生を行う予定です。

(幹事長)

進捗は全体的に早められればと、内部では協議しております。

(委員)

「田舎暮らし体験施設整備事業」「お試し住宅整備事業」の予算について、執行予定が3

2年度ということで、早めに取りかかった方がいいのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

(幹事)

お試し住宅につきましては、募集の結果1件出てきました。こちらは東郷地域でしたが、28年度にまず第1弾という形で向かってみようというのが現状です。また募集をかけて、なか1年空きますけども、30年度あたりにやっていこうという計画です。田舎暮らし体験施設につきましては、これは補助金なものですから、募集を行ってというか、このような補助がありますということで民に対する補助です。計画上は挙げているわけですが、32年度までには1カ所、補助として申請されるのではないかとということで挙げているものです。

(委員)

ここに住んでいる人は、自分たちの考え(慣習)になっていて、どんなにいい提案を行ってもなかなか参加なさらないという現状があります。先ほども買い物不便に対する話がありましたが、大平園のハッピーバーディー(移動販売)をお願いしてきてもらっても、始めのうちだけで、だんだんと買い物に出えらっしゃらない人もいるわけですね。「どうして利用しないの」と尋ねると「買いたいものがない」と言われますが。バスの定期券補助にしても、「移動手段がない」と、行けば利用できるんですけども。私たちが言ってもなかなか意識変化というのは起こらないので、外から来た人の考えや行動であれば、また注目されることがあると思います。私たちはこの空気に染まってしまっていますが、よそから見れば年配の人もまだまだ元気ですし、「自分たちが動けばもっといいところになる」という意識改革を起こしてくれるような人が入ってくれば、もっと自発的に発信していける地域になるのではと思います。そういった意味で、このお試し住宅などの事業は力を入れていただきたいなと思っております。

(幹事)

定住対策などは創生事業の方でも頑張っていきます。お試し住宅や、先ほど協力隊員の紹介しましたが、連携して企画づくりなど、と考えております。

(幹事長)

意識改革、なかなか難しいですね。やはり地域にリーダーとなる方がいないと、外からポツと入ってその人がリーダーというのは、時間的にも難しいので、中の人間でリーダーを作っていくというのが重要ではないかと思えますね。

(委員)

石脇にも移住者の方が入れましたが、ふれあいサロンだとかに積極的に参加されているようで、お年寄りも元気になったというかマンネリ化していたものが変わってきたという話を伺います。このような小さなことからでも変えていく必要があると思います。老人クラブでも色々と考案されているようですが、せっかくいい機会が提供されているのに、なかなか人が集まらないようで、企画者はかなり頭を悩ませているということも聞きます。やはり意識を変えていかないといけないというように感じております。

(委員)

年をとると耳も聞こえづらくなるし、背中が曲がって足が痛いという人もいますし。そういうのも一つの要因として考えてあげないといけないです。

(委員)

農業振興についてですが、T P P も妥結ということになったようですけども、打開策として集落営農組織を立ち上げて、コスト低減云々ということを国は進めています、先ほど計画においても集落営農について出ましたが、中身は前向きにしていないですね。維持・拡大というのが維持するのがやっとなで、どちらかというと尻すぼみになっている。このへんのところが湯梨浜町では難しいんです。法人化をすれば、いわゆる10町歩であれば1人いればいいわけです。30町歩を集団化してやっても3人いれば、組合長が1人いればいいわけです。すると、あとの残った人は何をすればいいかという、余剰力をどうしたらいいかという問題が出てきて法人化は難しいんです。湯梨浜町ではどうやったら前向きに進めていけるかという感じ。東郷には梨があり、米がなくても梨でやれるという。集約化・合理化して米作りという法人化も難しいです。逆に泊地域は東郷と違い、土地集約がしやすいのではないかと思います。ハウレンソウなど特定品目として進めていかれると、東郷やハワイなどと比べやすいのではないかと、そのへんも検討されてみてはと思いましたが。

(幹事)

泊地域の農業については、ご存じのように水田・畑などの条件が東郷などの平坦と比べて非常に良くない、集約にするにしても形状が良くないなど、なかなか個人での水稻耕作、畑を規模拡大していくということが困難になっています。農業は個別経営が中心となっているなか、一方で集落営農ということで、農業委員にもお世話になりながら、準備を進めているということでございます。なんとか、集落の中心となって営農を進めている方の意見も聞きながら、どういった耕作方法がいいのかということは考えていきたいと思っております。

(会長)

子どもの貧困対策について、計画の中には記載はありましたでしょうか。

(事務局)

入っていないですね。

(幹事長)

総合計画にありませんでしたか。

(幹事)

就学援助についてはありますが、子どもの貧困という枠では(ない)。

(委員)

泊の方で子どもの貧困ということがあるんですか。初めて聞きましたが。

(幹事長)

というよりは、低所得者の子どもがきちんと教育を受けられるようにという考え方でいいのかなと思いますが。要は、親の背中を見て子どもが育っていくところの教育をしつかりとやっていけば、そういった負の連鎖を解消できるというイメージなんじゃないかな。

(会長)

学校の方では就学援助とかありますが、保育料の軽減とかありますが、塾を町で人材がやっていると、放課後に児童クラブで。人材不足の解消、そのへんも考えてみてください。

それからゴミの問題ですが、海の方はちっともきれいになっていませんね。毎回私も見ますが。後島のほうとか。

(幹事長)

羽合・泊の環境部分は町民課であります。後島のあたりは対策ができていなくて、これは町民課に投げかけてはいるんですがね。もう少しエリアが広がらないかと。

(幹事)

宇野からはこっちは漁港管理、宇谷から向こうは町管理では。

(幹事長)

では漁港管理になるわけですか。

(幹事)

泊の方は町民課管理というか委託を受けていると。

(幹事長)

委託を受けているのですか。

(幹事)

委託というか、町民課が処理をし、県から補助金が出るというかたちでやっていますが。

(幹事長)

泊から宇谷の方の海岸清掃がなかなかされていないので、これについてもどうしていくかという議論も出てくると思います。

(会長)

山の農道の方も確実に不法投棄などが増えています。港はやはり釣り客。ゴミを残したままで。ゴミ拾いや注意は私たちもしているのですが。

5. その他

(会長)

では、その他に移ります。事務局の方から。

(事務局)

では今後のスケジュールについてです。(別添資料)これまでの策定経過を載せています。併せて、この計画が国・県に通じる計画でございますので、1月26日にこの2次案について事前に送付しております。実は本日を期限に依頼を出しておりますが、今のところまだ届いておりません。仮に修正等あれば行っていきたいというところです。それから、週明け2月9日頃から23日頃を目安にパブリックコメントを行いたいと思っております。また、議会の方にも事前にということで、9日の全員協議会の方でご意見等を伺いたいと思っております。3月議会に提案したいと思っておりますので、2月下旬にパブコメや県ヒアリングの結果を併せまして、まず幹事会、その後、3回目の委員会で修正案を含めて委員の皆さまに諮った上で、町長に答申という流れでいきたいと思っております。今のところ、2月26日午後、または

29日の午後あたりで、日程調整をさせていただきます。

(※出席委員に日程を確認)

欠席の委員さんや町長の日程もありますが、ひとまずは26日で調整させていただきます。

(会長)

このほか、皆さんの方から何かありませんか。ないようでしたら、以上で2回目の委員会を終了いたします。ありがとうございました。